３．交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

(1) 現況と問題点

① 道路・河川等

高規格幹線道路日高自動車道は町域内区間の整備が終わり、平成 10 年 7 月には厚真ＩＣが供用開始になっており、また、国道 235 号は本町の南部を横切り、他市町を結ぶアクセス道路となっています。一般道道北進平取線については、引き続き整備の促進を要望し、主要道道千歳鵡川線、一般道道上幌内早来停車場線、厚真浜厚真停車場線、夕張厚真線などの整備の促進と交通安全施設の整備についても要望しています。都市計画道路苫小牧厚真線については、苫小牧市と厚真町を最短で結ぶ道路として昭和 57 年に 14.15 ㎞を都市計画決定しましたが、このうち道道豊川遠浅停車場線の豊川橋から苫東地域内柏原までの約 6 ㎞が新設区間で未整備となっており、本路線は、むかわ町穂別地区や平取町を結ぶ路線でもあり、完成すると苫小牧市まで約 5 ㎞の短縮となり胆振東部地域生活圏の中心都市である苫小牧市への通勤、通学、救急医療に必要な生活幹線道路として、道道認定と早期整備を要望しています。

町道は平成 25 年 3 月末現在で、254 路線、延長 266.9 ㎞あり、整備状況は改良率 76.9%、舗装率 66.2%となっています。昭和 50 年代から重点的に道路整備を進め、現在の水準となっていますが、1 次整備から 30 年を経過した路線では老朽化が進み、舗装の劣化や段差不陸が生じるなど 2 次改築を必要とする路線も多くなっています。また、橋梁や付帯施設、農道の老朽化対策についても適切な補修を行い、長寿命化を図る必要があります。

路線の重要性や緊急性を勘案し、町道や農道の整備計画を策定していますが、財源を国の補助金に依存するところが大きく、補助金の縮減等によっては計画どおり進めることが難しくなっています。今後は高齢者や身障者、また通学生等の安全対策に配慮した歩道の整備や、危険交差点の改良など、安全安心な道路整備を進めていく必要があります。

河川については、適正な水量と良質な水質を確保するため、定期的な浚渫等、適正な維持管理に努めなければなりません。

表３－１　(1)道路の整備状況　（単位：m・%）

区　分	路線数	町　内 延　長	改良率		舗装率		橋　梁		
			延　長	率	延　長	率	永久橋	木　橋	計
国　道	1	20.6	20.6	100.0	20.6	100.0	12	0	12
道　道	9	84.8	81.3	95.9	80.5	94.9	39	0	39
町　道	254	266.9	205.2	76.9	176.6	66.2	91	3	94
計	264	372.3	307.1	82.5	277.7	74.6	142	3	145

（資料：平成 24 年度末道路台帳調）

② 交通

町内の交通機関は、ＪＲ日高線と道南バス・あつまバスが運航する路線が利用されていますが、ＪＲは海岸の路線、また、道南バスは南部地区のみの路線であるため利用者が少なく、本町ではあつまバスの運行路線に依存する割合が大きなものとなっています。

あつまバスは、町民の通勤、通学、通院、買い物等日常生活を支える重要な交通機関ですが、人口の減少や自動車の普及率の高まりとともに利用者が年々減少している状況であり、運行赤字への補てん等により生活路線の維持確保に努める必要があります。

また、当初、高齢者や障がい者福祉を目的に運行していた循環福祉バスは、町内のバス路線の廃止等による交通空白地域に対応するため、現在は利用者の玄関先から目的地まで送迎するフルデマンド方式で町内全域をカバーしていますが、車両数が 1 台のため毎日運行できない状況にあります。このため、今後は高齢化の進展とともにフルデマンド方式のバス運行の需要は高まると見込まれ、また、移住定住を促進するためにも町内交通機関を整備していかなければなりません。

表３－２　(1)ＪＲ路線　（平成 26 年 4 月 1 日現在）

路　線　名	区　　間	最　寄　駅	運行本数（上・下）	備　考
ＪＲ日高線	苫小牧～様似	浜厚真駅（無人）	18 本	

表３－２　(2)バス路線　　（平成 26 年 4 月 1 日現在）

路 線 名	区　　間（経由）	運行本数（上・下）		会社名等
		平日	土日祝	
苫 小 牧 線	厚真～ＪＲ苫小牧駅（ＪＲ早来駅経由）	14 本	14 本	あつまバス㈱
	厚真～ＪＲ苫小牧駅（上厚真経由）	6 本	6 本	
千　歳　線	厚真～ＪＲ千歳駅	6 本	4 本	
鵡　川　線	厚真～ＪＲ鵡川駅	4 本	‐ 本	
浜 厚 真 線	厚真高校～浜厚真	2 本	‐ 本	
早　来　線	厚真～ＪＲ早来駅	4 本	‐ 本	
こぶしの湯線	厚真～こぶしの湯	4 本	‐ 本	
	苫小牧～平取（最寄停留所　東浜厚真）	2 本	2 本	道南バス㈱
	苫小牧～静内（最寄停留所　東浜厚真）	6 本	6 本	
	浦河～新千歳空港（最寄停留所上厚真）	2 本	2 本	

表３－２　(3)循環福祉バス（デマンド方式）の運行　　（平成 26 年 4 月 1 日現在）

路 線 名	区 間	運行本数（日祝運休）	
		月水金	火木土
①幌内・高丘・富里・吉野・桜丘線	厚真市街地～路線各地区	‐ 本	3 本
②新町・美里・幌里・朝日（山手）線	厚真市街地～路線各地区	‐ 本	3 本
③東和・宇隆・朝日（川手）線	厚真市街地～路線各地区	‐ 本	3 本
④豊沢・軽舞・豊丘・鯉沼・鹿沼線	厚真市街地～路線各地区	3 本	‐ 本
⑤豊川・上野・共栄・共和・上厚真・富野・厚和・浜厚真線	厚真市街地～路線各地区	3 本	‐ 本
⑥軽舞・豊丘・鯉沼・鹿沼・厚和・浜厚真・共和・共栄・富野線	上厚真市街地～路線各地区	3 本	‐ 本

③ 情報・通信

本町の情報通信基盤は、「厚真町全域のブロードバンド化」「ブロードバンド化に対応した行政情報サービスの充実」「テレビ地上デジタル波放送の難視聴世帯の解消」を基本目標に、平成 19 年度から住民意向調査等をもとに、民間通信事業者の営業エリア以外の光ファイバー網の整備を進め、平成 20 年度にイントラネット、平成 21 年度に町営ブロードバンドとＩＲＵ、平成 22 年度にテレビ難視聴解消共同施設を整備しました。ブロードバンドサービスについては現在、約 90%のカバー率となっています。

しかし、最近はスマートフォンや携帯タブレット等の普及により、光ファイバーによるブロードバンドサービスを利用しない例が出始めており、今後の維持管理のあり方が課題となっています。また、町内分譲地の一部でテレビ難視聴地域があり、分譲地の販売促進とともに難視聴対策を進めていかなければなりません。

④ 地域間交流

本項目は「産業の振興」の「観光及びレクリエーション」と重複するので、同項目により整理した。

⑵ その対策

① 道路・河川等

◆道道整備の促進

ア　道道整備の促進（主要道道・一般道道）
イ　道道の交通安全施設整備の促進（歩道整備・防雪柵設置等）
ウ　都市計画道路の道道認定と整備促進（苫小牧厚真通り）

◆町道・農道整備の推進

ア　町道整備計画に基づく町道の計画的整備の推進
イ　町道維持管理の推進
ウ　橋梁等長寿命化整備の推進
エ　軟弱地盤対策の推進
オ　基幹農道の整備促進

◆安全で快適な道路環境の整備

ア　除排雪体制の充実
イ　交通安全施設の整備促進
ウ　道路環境のユニバーサルフリー化の研究
エ　町民等の参加による沿道の景観づくりの推進
オ　街路灯・防犯灯の整備促進
カ　案内表示（サイン）等の整備

◆河川の維持管理

ア　町管理河川の定期的なしゅんせつ等、適正な維持管理

② 交通

◆公共交通機関の充実

ア　民間バスの路線維持と利便性の向上
イ　循環福祉バスのオンデマンド運行と利便性の向上

③ 情報・通信

◆地域ネットワークインフラの整備

ア　イントラネットワークによる行政サービスの充実
イ　町営ブロードバンド「あつまネット」の円滑な運営と加入促進
ウ　ＩＲＵ事業の円滑な運営
エ　地上デジタルテレビ放送の難視聴地域への対応
オ　携帯電話通信エリアの拡大検討
カ　防災行政無線のデジタル化

④ 地域間交流

本項目は、「産業の振興」の「観光及びレクリエーション」と重複するので、同項目により整理した。

(3) 計画

事業計画（平成 26～27 年度）

自立促進施策区分	事業名 （施設名）	事業内容	事業主体	備考
2 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進	(1)市町村道 道路	新町フォーラム線改良舗装事業 L=1000m W=8.0m+2.5m	町	
		共和上厚真線改良舗装事業 L=240m W=5.5m+2.0m	町	
		豊沢共栄線改良舗装事業 L=400m W=7.5m	町	
		児童会館通り線改良舗装事業 L=66m W=5.0m	町	
		軽舞西支線舗装事業 L=237m	町	
		新町公園通り線改良舗装事業 L=222m W=7.0m+2.5m	町	
		上厚真市街 6 号線歩道（495m） 車道補修（450m）事業	町	
		宇隆東西線側溝整備事業 140m	町	
		漁業団地線舗装事業 舗装補修 422m	町	
		道路施設点検 路面・付帯施設・法面擁壁点検	町	
		共和南線舗装事業 150m	町	
		厚南開拓本線交差点改良事業 L=150m	町	
		軽舞町道橋段差解消事業 道道嵩上げ 400m	町	
		大沼長沼線改良舗装事業 L=100m	町	
	橋りょう	橋梁長寿命化事業	町	
	(2)農 道	農道保全対策事業 （舗装）L-902m	町	
	(8)道路整備機械等	道路維持車両購入事業 10t ダンプ 10t 除雪車	町	
	(10)過疎地域自立促進特別事業	地域公共交通対策事業 （事業内容） 循環福祉バスの運行及び生活交通路線維持補助金の交付 （事業の必要性） 交通空白・不便地域の解消を図り公共交通の確保を行う。 （見込まれる事業効果） 交通空白・不便地域の町民に生活に必要な交通手段を確保することが可能となる。	町	

		テレビ共聴施設事業 （事業内容） 　地デジ難視聴地域の共聴施設の運営事業 （事業の必要性） 　地デジ難視聴地域を解消する必要がある。 （見込まれる事業効果） 　難視聴地域を解消し、文化的な生活環境の確保を図ることができる。	町	
		ＩＲＵ維持管理事業 （事業内容） 　地域情報通信施設の運営事業 （事業の必要性） 　光ファイバー未設置地区の解消を図る。 （見込まれる事業効果） 光ファイバー未設置地域を解消し、文化的な生活環境の確保を図ることができる。	町	
		町営ブロードバンド事業 （事業内容） 　地域情報通信施設の運営事業 （事業の必要性） 　光ファイバー未設置地区の解消を図る。 （見込まれる事業効果） 　光ファイバー未設置地域を解消し、文化的な生活環境の確保を図ることができる。	町	
		イントラネット事業 （事業内容） 　イントラ基盤施設等の運営事業 （事業の必要性） 　公共施設の光ケーブルの維持により通信網を確保する。 （見込まれる事業効果） 　通信網の確保により、行政情報の共有を図ることが可能となる。	町	